

2019年度AO選抜 スポーツ健康科学部
「教員熱望方式」

【選考講評】

1. 実施状況

入試趣旨、志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
スポーツ健康科学科	18	5	3

本入学試験の目的は、以下の点について確認することです。

- (1) 高度な専門性を有した保健体育科教員を目指す高い学習意欲を有し、それを行動に移すことができるか
- (2) 理論と実践を通じてスポーツ教育学を学ぶ知的好奇心、強い関心および意欲を有し、それらを行動に移すことができるか
- (3) 文理融合の総合科学であるスポーツ健康科学を学ぶための確かな学力を有しているか
- (4) 課外活動や様々な教育ボランティア活動に積極的に取り組み、且つ教員を目指す学生を中心となって行動することができるか

そのために、各選考において、下記を評価し、合格者を選出しました。

＜第一次選考＞

書類選考：保健体育科教員を目指す意欲や基礎学力、および課外活動における取り組み

＜第二次選考＞

- ① プレゼンテーションおよび面接：保健体育科教員を希望する動機や関心の高さ、および表現力や社会性
- ② 口頭試問：スポーツ健康科学に関する素養

2. 試験内容

(1) 第一次選考

課題論文では、「あなたが目指す教員像」をテーマとして設定しました。

(2) 第二次選考

① プレゼンテーション試験

(「プレゼンテーション用資料」作成・プレゼンテーション実施・プレゼンテーション内容に関する質疑応答)

問題文にもとづき、「プレゼンテーション用資料」を作成し(80分間)、それに基づきプレゼンテーションを実施(5分間)、続いて質疑応答を行うという形式で試験を実施しました。

② 面接・口頭試問

出願書類をもとに、個人面接を実施しました。

また、口頭試問では、保健体育科の教科書を基に出題しました。

3. 出題の意図

(1) 第一次選考

以下の点について確認するために出題しました。

- ① スポーツ健康科学部へ入学後、どのような活動や経験を通じて教員として必要な指導力を伸ばし、どのように社会に貢献したいと考えているか
- ② 入学後、どのような活動計画を通して、どのような能力を身に付けたいと考えているか、またどのような教員になりたいと考えているのか
- ③ 文章の論理性・説得性、適切な表現力と文章の構成に関する能力（入学後に大学で学ぶ力）があるか

(2) 第二次選考

以下の点について確認するために出題しました。

① プレゼンテーション試験

- 保健体育科教員を希望する動機や関心の高さを有しているか
- 高校での学習を踏まえ、課題文を正しく読み取り、配付された資料を参考にしてポイントをまとめ、的確に資料上に表現し、その上でプレゼンテーションという形で適切に発表できるか

② 面接・口頭試問

- 立命館大学スポーツ健康科学部を志望する理由及び保健体育科教員を目指す動機・意欲
- 入学後、学びたい内容と実践したい活動等やこれまでの経験
- 他者とのやり取りの中で、質問の意図を正しく理解し、自身の主張を的確に伝えられるか
- 高校で学ぶ「保健体育」のうち、事前に提示した範囲に関する内容を理解しているか

4. 評価のポイント

(1) 第一次選考

入学試験要項に記載されている課題文に沿って、適切に論述できているかを評価のポイントとしました。

(2) 第二次選考

以下の点を評価のポイントとしました。

① プレゼンテーション試験

- スポーツ健康科学及び保健体育科教員への関心は高いか
- 設問に対して、適切に資料が作成されているか、また主張がわかりやすいよう工夫されているか
- 話し方の明瞭さや資料の活用、聞き手を意識した伝え方など、発表の仕方が適切か
- 他者とのやりとり（質疑応答）の中での表現は適切か

② 面接・口頭試問

面接・口頭試問については、上記「3. 出題の意図」にて記載の内容を評価のポイントとしました。

5. 解答状況

(1) 第一次選考（課題論文について）

- 部活動や課外活動で具体的に何が経験できたのか、それをどのように入学後での学びや、将来に活かし、どのような教員になりたいと考えているのかがしっかり書けていたかどうかポイントとなりました。
- 「教員像」についての記述が部活動指導に偏っていました。
- 誤字、脱字はほとんどありませんでしたが、字数が決まっているため、きっちり整理してまとめて書く必要があります。

(2) 第二次選考

- プレゼンテーション試験では、指定された内容について、適切に資料を作成し、且つその資料を有効に使用して説明できるかどうかで評価が分かれました。
- 面接・口頭試問では、これまでの「保健体育」の学修状況で差がついたと共に、「保健体育科教員」に対する熱望度合をしっかりとアピールできるかどうかで評価が分かれました。

6. 次年度受験生へのアドバイス

体育理論について、きちんと勉強し、理解しておく必要があります。また、自分の関心のある運動・スポーツに関する情報を日頃から収集し、自分なりの考えを整理しておくことが重要です。さらに、それらの整理した内容を、他者にわかりやすく伝えることができるように学習を進めておいてください。

以上